
令和4年 第2回 球磨村議会定例会会議録(第5日)

令和4年3月11日(金曜日)

場所 球磨村議会議場

議事日程(第5号)

令和4年3月11日 午前10時00分開議

- 日程第1 議案第22号 令和4年度球磨村一般会計予算について
日程第2 議案第23号 令和4年度球磨村国民健康保険特別会計予算について
日程第3 議案第24号 令和4年度球磨村後期高齢者医療特別会計予算について
日程第4 議案第25号 令和4年度球磨村介護保険特別会計予算について
日程第5 議案第26号 令和4年度球磨村簡易水道特別会計予算について
日程第6 同意第1号 球磨村教育委員会教育長任命の同意について
日程第7 閉会中の継続調査について
-

本日の会議に付した事件

- 日程第1 議案第22号 令和4年度球磨村一般会計予算について
日程第2 議案第23号 令和4年度球磨村国民健康保険特別会計予算について
日程第3 議案第24号 令和4年度球磨村後期高齢者医療特別会計予算について
日程第4 議案第25号 令和4年度球磨村介護保険特別会計予算について
日程第5 議案第26号 令和4年度球磨村簡易水道特別会計予算について
日程第6 同意第1号 球磨村教育委員会教育長任命の同意について
日程第7 閉会中の継続調査について
-

出席議員(9名)

- | | |
|------------|-----------|
| 1番 板崎 壽一君 | 2番 東 純一君 |
| 4番 小川 俊治君 | 5番 高澤 康成君 |
| 6番 舟戸 治生君 | 7番 嶽本 孝司君 |
| 8番 多武 義治君 | 9番 田代 利一君 |
| 10番 松野 富雄君 | |
-

欠席議員(1名)

3番 犬童 勝則君

欠 員 (なし)

事務局出席職員職氏名

局長 蔵谷 健

書記 山口 隆雄

説明のため出席した者の職氏名

村長	松谷 浩一君	副村長兼総務課長事務取扱	門崎 博幸君
教育長	森 佳寛君	復興推進課長	友尻 陽介君
税務住民課長	境目 昭博君	保健福祉課長	大岩 正明君
産業振興課長	犬童 和成君	建設課長	上薮 宏君
会計管理者	假屋 昌子君	教育課長	高永 幸夫君

午前10時00分開議

○議長（多武 義治君） おはようございます。本日は定足数に達しておりますので、これから本日の会議を開きます。

本日の日程は、配付してあるとおりです。

日程第1. 議案第22号 令和4年度球磨村一般会計予算について

○議長（多武 義治君） それでは、日程第1、議案第22号令和4年度球磨村一般会計予算を議題とします。

ご審議をお願いします。4番、小川俊治君。

○議員（4番 小川 俊治君） 一般会計当初予算について、村のお考えをお聞きをしたいというふうに思いますが、私を感じたところについて申し上げながら、それについて村長のお考えをお聞かせいただければなというふうに思っております。

大きな災害を受けた球磨村にとって、これからの復旧・復興に向けての財源確保は、非常に重要な課題だというふうに思っております。

まず、収入面で地方交付税交付金について、昨年の国勢調査による急激な人口減少に基づく緩和措置で、一定の財源が確保されたというふうに思いますが、本年度も、その考えに沿って、これから国に急激な緩和対策としての要望を踏まえ、それを基に、多分できるだろうという予算編成であるというふうに思います。そういう意味では、ぜひとも当村の非常に厳しい状況を国、県

に反映をしていただき、安定した交付税が受けられるように、ぜひとも執行部におかれては、当然頑張っていたいただきたいというふうに思いますし、議会としても強い立場で臨んでいくべきだろうというふうに考えております。

ただ、そう言いながらも、今回の当初予算見たときに、復旧・復興に向けて村がどう村民の皆さんに希望を持たせ、あるいは希望を生み出す予算になっているかというところを考えますと、これ、非常に昨年度の予算比べてみますと、緊縮財政というか、なかなか村民に対して希望が持てる、あるいは自らの村民の思いを反映した一般会計予算になっているのかということを見ると、辛抱してくれ、我慢してくれという予算編成にしか思えない。そういうふうには思っております。

まず、球磨村に住み続けたい、そして希望を持てる村であってもらいたいという、そういう思いを当然やっぱり執行部としては提案すべきだろうと、それが一般会計の予算の骨格になっていくだろうというふうに思います。そういう意味では、先ほど申し上げましたように、村民に我慢だけと言いますが、そこが中心になっている予算編成にしか私には思えません。

具体的に言いますと、球磨村に住みたい、被災しても球磨村に家を建ててそのまま住みたい、人口減少をなるだけ、執行部としては食い止めるという立場から考えると、思い切った施策も当然必要だろうというふうに思います。これは例えばですけども、球磨村に被災した人が家を建てる際に、村として100万ぐらいは、やるならやりますよと。これは、いわゆる人口そのものが減少を歯止めかけることによって、いわゆる今後の地方交付税あるいは税を含む収入の確保になるわけですから、当然そのことは近未来的に、私は必要な施策だろうというふうに思います。そういった意味で、思い切って、やっぱり予算編成を、あるいは考え方を示すことが大事ではなからうかというふうに思います。

家のこともそうです。安心・安全を担保にしようとするれば、災害に強い村づくりを目指す村として、被災したコミュニティの場を早急に確保するという意味では、私の一般質問で申し上げましたように、充実をした、被災をした施設、まず造るんだと。そういった問題、あるいは農地についても、今、高齢化で後継者がいない、担い手がない、そう嘆くばかりでは前に進みません。今、被災した農地の土壌を撤去して、当面は畑作でもいいから、ぜひ、そこを村民が使う。地権者の皆さんに協力頂いて提供頂ければ、家庭菜園を営むような形ができれば、副業としての一家の収入にもつながりますし、そのことが協働で作業をするという明るい展望も出てくるというふうに思います。そういった安心・安全、そして村民に与える、希望を持たせる、生み出す、そういった思い切った施策をぜひすべきだろうというふうに思います。

当初予算ですから、これから村民の思いを一つ一つ取り上げていくならば、当然、その中に補正を組んで考えるという考え方もあるかというふうに思いますが、復旧・復興に向けた当初予算

とすれば、そのことをしっかり村民に示す、そういう予算であってもらいたいというふうに私は思いましたので、私の考えを申し上げながら、今後、具体的な予算の中身については議論していきたいというふうに思います。そういうところで村長のお考えをぜひお聞かせいただければというふうに思います。

○議長（多武 義治君） 村長、松谷浩一君。

○村長（松谷 浩一君） お答えいたします。

まず、地方交付税につきましては、先ほど小川議員が言われたように、本当に不透明な中で今回、このような希望を持って17億円ということで上げさせていただいたところでございますけれども、今後とも、しっかり国のほうには要望しながら進めていきたいと考えております。そして、今回、新年度予算を編成するに当たっては、確かに小川議員言われるように、村民が見て希望の持てる内容なのかと言われたら、確かに、そのような内容ではないかとも思います。

今年は、まず、いつも言いますが、被災された方々の生活再建というところで、災害公営住宅でありますとか、宅地の造成でありますとか、本当に、まず必要なことを行っていく予算を編成したところでございます。そして、子ども・子育ての支援でありますとか、そういったところに重点を置きながら、予算を編成したところでございますけれども、先ほど小川議員言われたように、今から村内で住宅の再建をするという方に関しましては、今後、補正予算で支援をしてみたいと考えております。先ほど言われたように100万円という話をされましたけれども、そういった規模でやっていこうと思っておりますけれども、これに関しましては、県のほうの補助メニューあたりもつけていただくような、今、方向で考えていただいておりますので、それと合わせたところで、また次の補正あたりで皆さんに提案をさせていただきたいと考えております。

以上です。

○議長（多武 義治君） ほかにありませんか。5番、高澤康成君。

○議員（5番 高澤 康成君） 小川議員が今いろいろお話をされましたが、この当初予算の中で、基本的な考えとして財源の確保が大きな課題というように言われております。じゃあ、これを、当初予算をこういう形の中で進めていく中で、財政が最終的にどれだけ確保できるのかというのは、恐らく数値的なものがあると思います。お聞かせいただきたいと思います。

○議長（多武 義治君） 副村長、門崎博幸君。

○副村長（門崎 博幸君） お答えいたします。

基本的には、予算編成をするに当たりましては、それぞれ各課から必要な事業を整理をして、そこにどう財源を組み込んでいくのかということで予算立てをしていくわけですがけれども、その中で、どうしてもいろんな国の交付金でありますとか、補助金ですとか、そういったものを充てても、なおかつ、そこが財源が充て込めないということに関しましては、財政調整基金でありま

すとか、そういったものを活用しながらということで対応しているというところがございますけれども、今年度も財調のほう2億数千万ほど、既に歳出に充て込んでおりますので、今後、補正等でまた、いろんな事業が出てまいるというところを、どう財源を確保していくのかというのは、引き続きそういった基金の活用ですとか、有利な補助金、交付金のメニューを活用すとか、そういったものの工夫をしながら整理をしていくということなのかと思っております。

○議長（多武 義治君） 高澤康成君。

○議員（5番 高澤 康成君） 復興後、もちろん将来的にわたっての財源をきちっと確保をしなければいけない時期であろうというふうには理解はしております。

先ほど、いろんな話がある中でも、要は、財源を今こういう形で進めて財源を確保していかなければいけない、将来的なことを見据えて。じゃあ、ここを今、住民サービスをしていく中で、住民の方々にご負担を強いることのないように、いわば、こういうふうには財源を確保するためにやる、最終的に将来的にそれをプラス住民に負担、逆にプラスアルファをさせないようなやり方であれば、もちろん今、我慢をして財源を確保する努力も必要だろうというふうに思いますけれども、人口が減っていく中で、やはり、税の負担を上げるとか、そういう状況にならないようにというふうには私は思っておりますが、やはり復興に対しては、しっかり並行して進めなければいけないというふうに常日頃から言っております。

「かわせみ」の問題であったり、言えば、これまでの運営の仕方をしっかり改めて、どういうふうにするか、そういうやり方をすることによって、本来の第三セクターの目的というのも達成できるというふうに思っております。やはり、できることはしっかりしていかなければ、ただ単に財政を、財政的な確保するための予算づくりではなくて、復興に向けた予算もしっかり確保して、しっかりそれが実現できるようにしていかなければいけないと思うんですが、今の段階で、どうしても見えてこない。この予算を見て、本当に復興の部分はどこなのかというのが全く見えてこない。

そういう部分に関して、それぞれ各課の担当の方々がおられますので、どのように、どの分野はこういうふうに進むとか、こういうふうな将来像があるんだというのがあれば、そういう方向があるからこそ、今、こういうふうには財源を確保する必要があるというのを、それぞれの課長さんも認識していただきたいというふうに思いますので、そこら辺、村長。

○議長（多武 義治君） 村長、松谷浩一君。

○村長（松谷 浩一君） お答えします。

今、高澤議員言われたように、私の所信表明でも申しましたとおり、今年度は復興を優先させた予算編成ということで、させていただいておりますけれども、その中で、住民サービスが十分行き渡らないような、そういう状況に陥らないというのが、まず一番の目標でございます。そして、

先ほど申しましたように、一人でも多くの方が希望を持って村内に再建していただけるような、そういう支援を本年度はしっかりやっていきたいと考えております。

そして、各課には、各課の課長の意見を聞いたほうがいいんですかね。（発言する者あり）それぞれ各課は、今回復興に向けてしっかりと予算立てもしておりますし、それぞれ考えを持って今後も進めていっていただけるものと考えております。

以上です。

○議長（多武 義治君） 1 番、板崎壽一君。

○議員（1 番 板崎 壽一君） 歳入の件で、村税のことでお尋ねしますが、前年度に比べて、今回の予算では1億5,000万弱の増税になっております、歳入がですね。この根拠をちょっと教えてください。

○議長（多武 義治君） 税務住民課長、境目昭博君。

○税務住民課長（境目 昭博君） 板崎議員の質問にお答えします。

まず、当初予算でございますけれども、令和3年度におきましては、令和2年の災害に伴いまして、家屋等の被災がございましたので、所得の減少とか、そういったものを見込んだところで、大きく例年よりも下回るのではないかとというところで、当初予算を組んだところなんです。それが、所得等につきましては、申告に応じまして6月ぐらいに確定するわけですが、見込みよりも若干、実績のほうは上回っております。その関係で、令和3年度におきましては、低く見積もっていたところが実績のほうを上回ってございましたので、本年度予算については、昨年度よりも上げたところで計上をさせていただいております。

○議長（多武 義治君） 板崎壽一君。

○議員（1 番 板崎 壽一君） それは、大体確保できるような考えでいらっしゃるんですか。

○議長（多武 義治君） 税務住民課長。

○税務住民課長（境目 昭博君） これも見込みでございますけれども、今の令和4年度の所得の申告書でございます。これが6月ぐらいに一応、申告内容ございまして、所得の確定はします。その段階で、ある程度今年の見込みは出てきますけれども、現在のところでは、令和3年度の実績に応じたところで見込みを立てておるところでございます。

○議長（多武 義治君） 6 番、舟戸治生君。

○議員（6 番 舟戸 治生君） 45 ページです。ここに、人材センター補助金260万計上してあるわけでありまして、生きがづくりというような観点から、こういった補助金計上してあるんだろうと思いますけれども、私もシルバー人材センターの総会に参加をしたことがあるんですが、そういったときに、この補助金、残るような状態だとありまして、福利厚生費とかに上げてあるんですけれども、研修もあまり行われていない、また、ならば慰安旅行兼ねて研修を

するとか、そういったこともされていない状況にあったと思うのです。この260万がもう10年近く、私が知る限りはそれ以上だろうと思いますが、本当に経営といいますか、活動状況がどうなのか伺いたいなと思います。

○議長（多武 義治君） 保健福祉課長、大岩正明君。

○保健福祉課長（大岩 正明君） お答えいたします。

シルバー人材センターにつきましては、シルバー人材センターも、今、令和2年7月豪雨の影響により会員数も若干減りまして、業務のほうも請負業務、こちらのほう渡すけれども、堤防の草刈り等請負、収入関係が結構ありましたけれども、それも令和2年7月豪雨から請負ができない状況になっております。会員さんの仕事も減っております、当然シルバー人材センターのほうの運営費のほうも、これまで蓄えられたお金を、貯金というか、そういったものを取り崩しながら運営を行われております。職員も事務局長、それから事務員お二人で、今、仕事のほうを見つけながら会員さんへの請負の仕事を見つけて頑張っている状況ではございます。

そういった状況で、今回、予算の査定の中でも、いろいろ私のほうに意見を確認されたんですけども、シルバー人材センターのほうの中身を確認しましたところ、もう今現在、残っている、蓄えておられたお金のほうを取り崩しながら運営しております、そういった余裕的なものが、ちょっと厳しいというような状況は確認しております。

以上でございます。

○議長（多武 義治君） 5番、高澤康成君。

○議員（5番 高澤 康成君） さんがうらの委託料550万（「ページ数から申し上げてください」と呼ぶ者あり）何ページだったかな。（「59ページ」と呼ぶ者あり）59ページ。毎年550万委託料としております。水害、災害の後、なかなか運営そのものができなかったという状況であるというふうに思いますが、村長のお膝元でもあります。今後の、このさんがうらの運営をどのようにお考えなのか。これまでの流れでいくと、将来的には別の法人化でという話があります。これの将来的なものは運営の仕方にはどのように思っておられるのか。

○議長（多武 義治君） 村長、松谷浩一君。

○村長（松谷 浩一君） お答えします。

さんがうらに関しましては、今、5年間の指定管理ということで動いているところでございますけれども、今、議員言われたように、去年、今年と災害を受けて、災害及びコロナ禍ということで、利用客が少なく経営状況はものすごく厳しいものがございます。ただ、厳しい中で何ができるのかということで、今、施設長とは、時々お会いして話をするんですけども、いろんな考えをお持ちのようでございますので、今年もそこに期待しているところではございます。

できれば、このコロナ禍が収まって、来ていただける宿泊等が増えていけば、運営自体も良好

な状況になるのかなと考えておりますけども、今年は、今、言いましたように、コロナ禍が継続したにしても、何らかの形でほかにやっという意欲を持って、今は施設長されておりますので、それに期待しているところです。

以上です。

○議長（多武 義治君） 高澤康成君。

○議員（5番 高澤 康成君） 資源がたくさんあると思います。棚田とかいろんなやり方もしてきておりますが、以前、トロッコの話もありました。川遊びも十分できる場所なんですよ。でも、昨年行ったんですが、非常に施設が汚れて外のトイレも使えない状況、コウモリが死んでという状況。やはり、そこら辺はしっかりしていただかないと、それも一つの業務だと思いますので、ぜひ伸ばしていただきたいというふうに思います。

次、77ページ。球磨川リバイバルトレイル負担金、新聞等々で載っておりました水上とか人吉等々が組織をつくって、いろいろされたようですが、球磨村もそれに加盟をして何か行われるんだろうというふうに思いますが、これについてお聞かせいただければと思います。

○議長（多武 義治君） 教育課長、高永幸夫君。

○教育課長（高永 幸夫君） 先日、球磨川リバイバルトレイル、ロングコースとショートコース、開催されたわけですが、来年度、球磨村もこれに加盟させていただいて、球磨村独自のトレイルランを計画をさせていただきたいというふうに考えております。令和2年の7月の災害で被災した球磨村で開催することによって、この大会を通じまして自然への理解等を深めていただく、それから、地域と関係者の方々が触れ合いを通して、地域の魅力を広く発信していきたいなというふうに考えております。

やっぱり、この復興状況が幹線219、球磨川沿いしか報道等に出ておりませんので、今回はトレイルランということで、山間部を走るコースを設定しております。目に見えない被災地にもスポットを当てて、そういった大会をすることによって、球磨村への理解、また支援、そういったのにつなげていきたいなというふうに考えております。

以上です。

○議長（多武 義治君） 1番、板崎壽一君。

○議員（1番 板崎 壽一君） 59ページをお願いします。先ほどのさんがうらの次に出てきます球磨村山村活性化支援業務委託料の詳細を教えてください。

○議長（多武 義治君） 産業振興課長、犬童和成君。

○産業振興課長（犬童 和成君） 山村活性化協会のほうに業務委託しております。業務の内容は、景観整備、観光案内、特産品の販売等になっております。

○議長（多武 義治君） 板崎壽一君。

○議員（1番 板崎 壽一君） それは分かるんですが、その予算を立てた金額、根拠、それを教えていただけますか。それと、付随してですが、あそこの前の駐車場は来客用であると思うんですが、ほとんど山村協会の方が使っておられるから、郵便局は別としても、この辺に来られる方、ちょっと駐車ができないような状態が出ておりますので、その点もちょっと、来客用であると思いますのでよろしくお願いします。

根拠を教えてください。（「1,500万の内訳」と呼ぶ者あり）

○議長（多武 義治君） 産業振興課長。

○産業振興課長（犬童 和成君） すみません。人件費が約1,800万、事業費が160万円、保険料が18万円、共済費が29万円、諸経費が206万、租税公課費が33万（「もういいです」と呼ぶ者あり）いいですか。

○議長（多武 義治君） 板崎壽一君。

○議員（1番 板崎 壽一君） 人件費が1,800万設けてありますが、人数はどんなですか。

○議長（多武 義治君） 産業振興課長。

○産業振興課長（犬童 和成君） 景観整備員が4名、観光案内のほうは3人となっております。

（「さっきの駐車場の問題まで」と呼ぶ者あり）駐車場の件につきましては、そうですね、来客の方が来られて大変迷惑されるというところかもしれませんが、こちらのほうで指導をしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

○議長（多武 義治君） 2番、東純一君。

○議員（2番 東 純一君） 予算書の69ページのところで、教育費の項目のところでICT家庭教育推進補助金という額も上がっております。提案理由の中にもありますけれども、今、現状、コロナの収束がなかなか思うように進まない中において、教育においてはICTを活用した学習を、学校だけでなく家庭学習でも行うために、小学生がいる世帯のインターネット利用の一部を負担する予算を計上しているとあります。このことについて、今、現段階での状況というか、取組方ということをお知らせいただければと思います。

○議長（多武 義治君） 教育課長、高永幸夫君。

○教育課長（高永 幸夫君） 一昨年、昨年来から、国の「GIGAスクール構想」に基づいて、学校のIC化を進めております。現在、児童生徒におきましては、それぞれタブレットを提供して、それで授業を行っているところでございますけれども、今回、こういった形で家庭教育推進補助金ということで上程させていただきましたのは、それぞれ家庭で、ネット環境がないご家庭がございまして、ネット環境を整備することによって、遠隔でも授業が受けられるような、そういった形を取りたいなというところで計画させていただいているところでございます。

どうしても学校の授業、それから家庭に帰ってインターネットを使う機会が今後増えてまいり

ますので、そういった形で支援をさせていただくというところで、対象者155名に対しまして、1世帯当たり2千円という形で補助をさせていただく計画でございます。

以上でございます。

○議長（多武 義治君） ほかにありませんか。7番、嶽本孝司君。

○議員（7番 嶽本 孝司君） 31ページでお尋ねいたします。30ページの財産管理費の31ページになります。委託料のところですか。村有施設特定建築物定期検査報告業務委託料82万4千円というふうになっております。これ、どこの建物で、82万4千円の委託料の算出方法を2点だけお尋ねいたします。

○議長（多武 義治君） 答弁調整のため、暫時休憩いたします。

午前10時35分休憩

午前10時42分再開

○議長（多武 義治君） それでは、会議を再開いたします。

先ほどの嶽本孝司議員の質問に副村長、門崎博幸君。

○副村長（門崎 博幸君） お答えをいたします。時間取りまして大変失礼いたしました。

村営施設特定建築物定期検査報告業務委託料82万4千円の内容と内訳ということでございますけれども、これにつきましては、村営施設のうちのせせらぎが対象になっております。これは簡易宿泊所ですとか、そういったものが火災で死亡者が発生したというような例がございますので、そこで、せせらぎの場合が2階のほうに簡易の宿泊施設がございますものですから、その関係で定期に報告をするということでございまして、毎年を実施する分と3年に1回実施する分がございまして、毎年実施をする分につきましては防火設備の定期検査ということで、こちらが30万8千円それから3年に1回ということで、全体的な調査報告ということで51万5,900円、の予算を計上しております。

これにつきましては、あくまで予算の計上ということでございますので、見積書を業者のほうから提出をしていただきまして、それを基に予算を計上しておるということでございまして、また別途業務委託する際には積算をしてという形で整理をするということになるかと思っております。

○議長（多武 義治君） 嶽本孝司君。

○議員（7番 嶽本 孝司君） はい、分かりました。

これにつきまして予算書を出していただくというようなことでしたけど、競争入札されてますでしょうか。

○議長（多武 義治君） 副村長。

○副村長（門崎 博幸君） まだ、実際、発注という業務のところまでは、予算を計上させていただいているというところがございますので、結果としては、従前の例のよりますと事象に基づきまして100万以内ということでございますので、競争入札ではなくて随意契約の対象ということでございますので、従前では随意契約のほうで対応させていただいております。

○議長（多武 義治君） 嶽本孝司君。

○議員（7番 嶽本 孝司君） 100万以下ということでございますけど、これ、随意契約というんですかね、私は思うんですけどね、それはいいとして、先ほどから出ていますように緊縮財政であれば、こういうところも82万幾ら、100万円を下がりましても、やはり競争入札あたりをお考えになるべきじゃないかなというふうに思いますけど。私としては少し高いんじゃないかなと、個人的にそういうふうに思っております。

続きまして、違うのもいいですか。34ページでお伺いいたします。これは企画費ですね。目が33ページからで企画費の節、一番下で34ページ、18番、負担金補助金及び交付金のくま川鉄道経営安定化補助金（災害復旧費）というふうに884万1,100円というふうになっておりますけど、すいません、再度になるかと思うんですが内訳といいますか、この災害復旧費をお尋ねいたします。

○議長（多武 義治君） 答弁調整のため休憩をいたします。そのままお待ちください。

午前11時47分休憩

午前11時51分再開

○議長（多武 義治君） それでは、会議を再開いたします。

村長、松谷浩一君。

○村長（松谷 浩一君） お答えします。

詳しい内容まではちょっとお答えできませんけども、くま川鉄道の経営安定化補助金ということで、災害復旧に係る必要な経費につきまして、各自治体で支払わなければならない負担分ということでご理解いただきたいと思います。そのほかの詳しい内容につきましては、この場で分かりかねますのでよろしくお願ひしたいと思います。

以上です。

○議長（多武 義治君） 嶽本孝司君。

○議員（7番 嶽本 孝司君） 詳しい内容につきましては、そこまではよろしいです。

くま川鉄道には、私たち球磨村も大変お世話になっているかなというふうに思っております。このくま川鉄道を、議会のほうでも少し話が上がっておりますので、渡駅までという話も出ていますので、そこのところをどうでしょうかということで、よければお願ひいたします。

○議長（多武 義治君） 村長、松谷浩一君。

○村長（松谷 浩一君） お答えします。

先日も答弁の中であつたと思いますけども、今、村としては沿線の市町村と共にJR九州さんのほうに、鉄道での再建ということで要望を続けておるところでございます。ですから、3月まで、今年度中にある程度の方向性というのをお示しいただくということで、JRのほうからはお答えを頂いているところです。まずは、その答えを聞いた上でということになると思いますので、その辺はご理解いただきたいと思います。

以上です。

○議長（多武 義治君） ほかにありませんか。4番、小川俊治君。

○議員（4番 小川 俊治君） 2点ほど、お尋ねをいたします。

まず、26ページです。村債の発行によって財源の見通しされておりますけども、昨年と比べると6億5,000万少ない予算になっております。これからまだまだ復旧に向けてのお金は必要になってくるんだというふうに思いますんで、場合によっては村債を使ったほうがいいだろうという、そういう判断が出てくるというふうに思います。で、今後、村債を使って財源に組むという考えの中で、どれぐらいの村債の発行が補正の中で出てくるのか、分かればぜひ教えていただきたいというふうに。今の時点で分からないなら分からないで結構です。

それと、32ページ、財政調整基金積立の見込額が示されておりますけども、令和3年度における財政調整基金を含む基金からの一般財源繰入額が幾らあつたのか、今後の繰入額がどのくらいになるのか、分かればぜひ教えていただきたいと。分からないなら分からないでいいです。ただ、現時点で残金が幾らあるかは教えていただきたいと思います。

○議長（多武 義治君） 副村長、門崎博幸君。

○副村長（門崎 博幸君） 村債、地方債と基金の状況について、今後の見通しをというようなご質問かと思っております。

まず、地方債、村債につきましてですけれども、今、復興復旧を進めていく中で、あと一つ固まっておりますのが学校についてでございます。ここが今再編の議論が進みながらということでございますので、この学校のところがある程度見通しがつけば全体的な中長期の財政見通しが立てられようかと思っております。

今の状況の中では、まだ今回の災害復旧に係りますところの村債の償還が始まっていないというような状況でございますので、その据置期間が終わった後、5年ないし10年先に相当な財政負担が生じてまいろうかと思っておりますので、その辺も含めまして、今後その中長期の財政見通しは詰めさせていただきたいと思っておりますので、今の時点ではまだ確定をしていないということですので、ご承知おきを頂ければと思っております。

それから、基金の状況でございますけれども、基金も同様に、今後のそういった財政出動に対しまして基金をどう、財政調整等含めて、あるいは減債基金も県債の償還に合わせてというような活用が出てまいりますので、これもある程度、その額あたりも含めて全体的な財政見通しの中で展望が見えてくるのかなと思っておりますので、今の時点では将来的な中長期のところではお示しができませんので、ご承知を頂ければと思っております。

現在高ということでございますけれども、令和2年末の現在高が財政調整あるいはその他の基金含めまして、トータルで26億1,700万でございます。で、3年度末の現在高の、これは見込みでございますけれども、26億が21億1,000万でございます。

今回、当初予算で財政調整等含めて基金を財源として当て込んでおりますので、現状といたしましては15億7,700万ということでございますので、今後また事業を展開する中でこの基金が減っていくというふうなことが想定されますので、将来的にこの基金を維持していけるのか、復興を進めていく中で、ここが非常に執行部としましても危惧をしているところでございます。

以上でございます。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（多武 義治君） 異議なしとの発言があっており、ほかに質疑などの通告がありませんので、これから採決をいたします。

お諮りします。議案第22号は原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（多武 義治君） 異議なしと認めます。したがって、議案第22号は原案のとおり可決されました。

日程第2. 議案第23号 令和4年度球磨村国民健康保険特別会計予算について

○議長（多武 義治君） 次に、日程第2、議案第23号令和4年度球磨村国民健康保険特別会計予算を議題とします。

ご審議をお願いします。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（多武 義治君） 異議なしとの発言があっており、ほかに質疑などの通告がありませんので、これから採決をいたします。

お諮りします。議案第23号は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（多武 義治君） 異議なしと認めます。したがって、議案第23号は原案のとおり可決さ

れました。

日程第3. 議案第24号 令和4年度球磨村後期高齢者医療特別会計予算について

○議長（多武 義治君） 次に、日程第3、議案第24号令和4年度球磨村後期高齢者医療特別会計予算を議題とします。

ご審議をお願いします。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（多武 義治君） 異議なしとの発言があっており、ほかに質疑などの通告がありませんので、これから採決をします。

お諮りします。議案第24号は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（多武 義治君） 異議なしと認めます。したがって、議案第24号は原案のとおり可決されました。

日程第4. 議案第25号 令和4年度球磨村介護保険特別会計予算について

○議長（多武 義治君） 次に、日程第4、議案第25号令和4年度球磨村介護保険特別会計予算を議題とします。

ご審議をお願いします。——ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（多武 義治君） 異議なしとの発言があっており、ほかに質疑などの通告がありませんので、これから採決をします。

お諮りします。議案第25号は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（多武 義治君） 異議なしと認めます。したがって、議案第25号は原案のとおり可決されました。

日程第5. 議案第26号 令和4年度球磨村簡易水道特別会計予算について

○議長（多武 義治君） 次に、日程第5、議案第26号令和4年度球磨村簡易水道特別会計予算を議題とします。

ご審議をお願いします。6番、舟戸治生君。

○議員（6番 舟戸 治生君） 9ページです。簡易水道施設費、また簡易水道施設整備費、計上されておりますけれども、関連ということでお尋ねをしたいと思いますが、球磨村の本管の布設

工事も法正林化等を利用して進められていたわけでありましてけれども、被災をしまして途中で止まっている状況だと思っておりますけれども、これから公営住宅の建設また、塚の丸住宅の整備、あとまた峯地区、神瀬、一勝地とやっっていく中で水道工事の負担も大きくなっていくのではなかろうかなと思っておりますが、それに対する考え方といいますか、どのように考えておられるのか。予算的に莫大なものになるのではなかろうかなと思っておりますし、今の時点では水道料の値上げをしても微々たるものではなかろうかなと考えますので、そういったところの考えをお聞きしたいと思っております。

○議長（多武 義治君） 村長、松谷浩一君。

○村長（松谷 浩一君） お答えします。

今、舟戸議員言われるように、今後、宅地の整備とか、そういうのが進む中で必ず必要な経費であると思っております。そのために、今年は法正林化事業もまた再開をさせていただきたいと思っております。そして、この水道に関する予算というのは、今後もこれはもう本当に住民の生活に密接に関わっていくものでございますので、しっかり予算措置をしながら対応していきたいと考えております。

以上です。

○議長（多武 義治君） 舟戸治生君。

○議員（6番 舟戸 治生君） 頑張ってもらえないわけでありましてけれども。

私もいろいろ村内巡らせていただいておりますが、神瀬地区に行ったときにボーリング等が進められていたわけでありまして、1回目は出なかったというか地盤の関係で、その後また別のところにされているようでありますけれども、そういった結果といいますか、どうなったのかお伺いしたいと思います。

○議長（多武 義治君） 建設課長、上薮宏君。

○建設課長（上薮 宏君） 今、神瀬地区の大岩から四蔵までがインフラ避難で仮設住宅等に入っておられますけれども、水道の水が川内川沿いから届けられていたのが被災いたしまして水が出ないということでインフラ避難されております。

地元ともいろいろ協議しながら、水をどういうふうに確保するのかということでいろいろ協議しまして、ボーリングということで、今、舟戸議員言われましたように、大岩地区の川沿いの村道のちょっと山手の田んぼのところを提供いただいて掘ると、これは村の単独事業であります水道のほうの災害復旧費ということで、村から補助金を出すということで、事業自体は地区の水道で工事をしていただいているというところがございます。技術的な面とか、いろいろなものについては村のほうでいろいろ協議いたしまして入っているわけですが、その中に今言われたように1か所目に掘ったところが、ちょっと砂利層が多くてよくないと、現状的に、このまま掘っても

駄目だということで、すぐ別の場所を見つけていただいて掘り始めたわけです。

ただ、掘り始めに、ちょっとほかの現場が災害がいろいろあって、球磨村じゃないんですけども、ほかのところの手間取って2か月ほど遅れたようですので、今年に入ってから実際掘り始めたというところでございます。

2か所目が、今度は掘ったんですが、結構硬いのがすぐ出てきて、それを掘り進めるのに結構手間がかかっていると。今現在、水が出たか、出なかったか、まだ報告頂いていないので、3月いっぱいには水が出るような方向で聞いております。

ほかの配管関係とかメーター器をつけていただくようにしていますので、そのメーター器の設置とかはほとんど終わっておりますので、あと、水が出たときのつなぎ込みがどれぐらいで終わるかというのは、ちょっとまだご報告頂いておりません。

以上です。

○議長（多武 義治君） 舟戸治生君。

○議員（6番 舟戸 治生君） 関連ということでお尋ねをしますけれども、渡地区の水道設備、いろいろ考えてみたときに、今までが沖鶴橋の中を通して給水管来ていたわけでありましてけれども、このように大きな災害が発生した場合は、沖鶴橋が流れて渡地区は本当に断水状態になったわけでありまして。そこで考えなくてはならないのが、沖鶴橋と相良橋両方に、どうしても今度は鶴口に持っていくためには相良橋通す、これはもう必要なことでありますけれども、給水、極端に言って大無田から沖鶴橋を通して今来ている状態と、また相良橋にも、大無田から相良橋を通してすると。極端に言えばバイパスを造ってやることで、どちらかの橋に影響があった場合は片方でまた生きていくと、そういうバイパスも考えるべきじゃなかろうかなと私は思うのです。

前、村長にお尋ねしたときは、そういったことは考えていないと答弁頂いたので無理かなと思うんですけども、いろんなことをお尋ねすればL2とかL1が必ず出てくるんですけども、そういう橋梁に関しても、やはりL2とか含んだところで考えていただければなと思いますが、村長、再度お尋ねします。

○議長（多武 義治君） 村長、松谷浩一君。

○村長（松谷 浩一君） お答えします。

今、舟戸議員が言われたように、ぐるっと回るような、そういう水道管のケースというところ、以前一旦は考えたということなんですけども、そのときはなかなか実現に向けては難しいだろうということでお答えをさせていただいたんだろうと思います。

今後は、今すぐそれができるかといえば、なかなかできないことだろうと思いますけども、将来に向けてはどのような災害があるか分かりませんので、そういうのを見据えたところで、その件だけでなくほかの部分に関しましても、そういう予備的なものが必要なところが出てくると

思いますので、そういうのはしっかり考えていかなければいけないだろうと思っております。

以上です。

○議長（多武 義治君） 4番、小川俊治君。

○議員（4番 小川 俊治君） 水道の特別会計は一般会計からの繰入れに頼る部分が大きくて、今後、人口減少に伴う財源確保が非常に難しくなる中で、一般会計も厳しい、水道会計も厳しい、そういう状況の中で、あと何年ぐらいこの状況が保っていけるのか、場合によっては水道料金を引き上げないと運営できないという状況になるだろうと思うんです。そこ辺はもう早め早めの見通しを立てていただかないと、いきなり、じゃあ水道料金を上げますということになったら、これはまた混乱するだろうというふうに思いますので。新たな水源確保に向けての調査等もされておるようですが、そこもしっかり、今後の人口の推移、見極めた上で事業展開をしないと一気に破綻してしまうという可能性だってありますので、ぜひその辺についてはしっかり見ていただくとお願いをしたいというふうに思います。

令和3年度の状況見ると、災害復旧に伴う国庫補助があったから何とか今までどおりの状況になったというふうに思いますけども、このことを考えると大変な事業運営になるということを含めて、やっぱり村民の皆様にも分かるような形で、説明する機会があればぜひやっていただきたいというふうに思っております。

以上です。

○議長（多武 義治君） よろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（多武 義治君） 異議なしとの発言があっており、ほかに質疑などの通告がありませんので、これから採決をいたします。

お諮りします。議案第26号は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（多武 義治君） 異議なしと認めます。したがって、議案第26号は原案のとおり可決されました。

日程第6. 同意第1号 球磨村教育委員会教育長任命の同意について

○議長（多武 義治君） 次に、日程第6、同意第1号球磨村教育委員会教育長任命の同意を議題とします。

ここで、森教育長は本人に関する任命同意の審議になりますので、退室をお願いいたします。

〔教育長 森 佳寛君 退場〕

○議長（多武 義治君） それでは、ご審議をお願いします。9番、田代利一君。

○議員（9番 田代 利一君） 9番です。確かに森佳寛教育長におかれましては、令和2年5月に就任され、これまで球磨村の教育行政をつかさどってこられました。温厚な性格で、子どもたちからも親しく声をかけられることも多く、保護者の信頼も厚い方であります。

なお、令和2年7月豪雨では、鋭意率先して被災した渡小学校の教育環境の改善を始め、常に児童に寄り添いながら安心して学べる環境づくりに邁進されました。

今後、大きな課題が山積しておりますが、これまでの豊富な経験と知見を生かし、球磨村の魅力ある教育環境づくりに力を発揮していただくことを期待しております。

議員各位におかれましては、全会一致にてご同意頂きますようお願いいたします。

○議長（多武 義治君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（多武 義治君） ほかに発言がありませんので、直ちに採決を行います。この採決は起立によって行いたいと思います。

本案件を原案のとおり同意することに賛成の方はご起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（多武 義治君） お座りください。

全員起立と認めます。したがって、同意第1号は原案のとおり同意することに決定しました。

〔教育長 森 佳寛君 入場〕

○議長（多武 義治君） 森教育長に申し上げます。ただいま、同意第1号は原案のとおり同意することに決定をしましたので、お知らせをいたします。

教育長、森佳寛君。

○教育長（森 佳寛君） ただいま、議長のほうから発言のお許しを頂きましたので、ここで一言ご挨拶を申し上げます。

本日の議会におきまして、教育委員会教育長の選任同意に対し、議会の皆様方からご同意を頂きました。このことは、私にとりまして大変身に余る光栄でございますし、同時に教育長としての大役の責任の重大さを改めて痛感しているところでございます。

顧みますと、令和2年5月7日付で教育長に就任し、はや1年10か月が過ぎました。その間、コロナ禍に加え、7月の豪雨災害により渡小学校が甚大な浸水被害を受け、球磨村の教育環境は激変し、子どもたちの学校生活も大きな影響が生じたままでございます。私も様々な教育課題に対し懸命に取り組んできたところではございますが、解決できない課題も多々ございます。非常に自分の力不足に反省の日々でございます。

今回、再度、教育長という大役を仰せつかりました。これから球磨村は学校の再編をはじめ、様々な教育課題を抱えておりますが、覚悟を持って球磨村の復興のため、そして将来を担う子ども

もたちのために誠心誠意努力していく所存でございます。

どうぞ議員の皆様方、今後ご指導ご鞭撻、そしてご支援のほうをよろしくお願い申し上げ、私の挨拶といたします。

本日は誠にありがとうございます。

日程第7. 閉会中の継続調査について

○議長（多武 義治君） 次に、日程第7、閉会中の継続調査を議題とします。

各委員長から、委員会において調査中の事件について、会議規則第73条の規定によって、お手元に配付した申出書のとおり、閉会中の継続調査の申出があります。

お諮りします。委員長から申出のとおり、閉会中の継続調査とすることにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（多武 義治君） 異議なしと認めます。したがって、委員長から申出のとおり閉会中の継続調査とすることに決定しました。

お諮りします。会議規則第44条の規定により、本会議で議決された事件の条項、字句、数字、その他の整理を要するものについては、その整理を議長に委任されたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（多武 義治君） 異議なしと認めます。したがって、本会において議決した事件の条項、字句、数字、その他の整理は議長に委任することに決定しました。

お諮りします。本定例会の会議に付された事件は全て終了しました。したがって、会議規則第6条の規定によって、本日で閉会したいと思います。これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（多武 義治君） 異議なしと認めます。したがって、本定例会は本日で閉会することに決定をいたしました。

ここで、私ごとで申し訳ございませんけども、発言をお許しをいただきたいと思います。

私も令和2年7月豪雨で被災をしまして、昨年、家を解体をいたしました。今回、4月が改選ということでございますけども、家もない、地域にもいないということで、今回の選挙は出馬しないことに自分の中で決定をいたしました。4期16年間ではございましたけども、議員の方々には大変お世話になった方もいます。また、後にお別れ会等予定されておりますので、その場でいろいろ話をさせていただきたいと思います。

また、執行部の皆様方には、小学生の頃から、また青年団の頃から、いろんな方とお付き合い

をさせていただきました。大変、今日までお世話になったかと思います。議員は辞めますけども、また違った意味でのお付き合いを、ぜひよろしくお願いを申し上げたいと思います。

皆様方の今後のご活躍をお祈りを申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

10番、松野富雄君。

○議員（10番 松野 富雄君） 10番です。大変お疲れさまでございました。

私も平成14年から今期まで5期20年間、議員として活躍させていただきました。皆様のご支援のおかげで、本当にありがとうございました。

私は最初の選挙のときに、告示前——10日だったですか——緊急入院をしました。その入院の原因といいますのは、35歳のときに腎臓結石をしました。そのときに尿管が左のほうはスムーズに通って、右のほうがちよっと変だなということはその時点で分かってはいたんですけども、それが熊大に行って調べたところ、どうも右の尿管が一部奇形というんですか、そういう状態になって、一方のほうはきれいに尿道に入っていて、片方が出た状態で、それが化膿して、5日前になって手術をして、それから抜糸もせずに、そのまま告示をしまして、もう選挙期間中は半分は寝ていた状態でした。そういう中で、大変後援会の皆様方にはお世話になったことでした。

ということでございますので、どうぞ皆様方、また今期も頑張ってもらえるようでございますので、体には十分注意をされまして、球磨村発展のため、また球磨郡、人吉のために精いっぱい頑張っていたいただければなと思っております。

私も今後、力になれることはしていきたいと思っておりますので、どうぞ今後ともよろしくお願ひします。

本当にお世話になりました。ありがとうございました。（拍手）

○議長（多武 義治君） これで本日の会議を閉じます。

令和4年第2回球磨村議会定例会を閉会をいたします。お疲れさまでした。

午前11時33分閉会

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和 年 月 日

議 長

署名議員

署名議員